

2019年度児童福祉文化賞推薦作品
厚生労働省社会保障審議会特別推薦作品



こどものいるとこ どこへでも

～演劇の力で心を耕し、地域を耕します～

みなさんこんにちは! 劇団風の子九州です。

ご存知でしょうか、子どもたちはお芝居が大好きです。目の前で繰り広げられる様々な場面や役者たちの演技にくぎ付けになります。五感をフルに働かせて集中します。それは正に、心が運動している時間。しかし最近の子どもたちはゲーム機に夢中です。実は、ゲームで遊んでいる時間は、ある種の中毒症状で心は育ちません。子ども時代の豊かな体験が人間を創るのですが!

さて今回、みなさんのお住いの近所にお芝居がやってきます。

しかし子どもたちは、大人のサポートなしにはお芝居を楽しむことが出来ません。地域にとって子どもは宝です。地域はみんなのふるさとです。爽やかな五月の夜、この機会に是非、子どもたちと一緒に生のお芝居を楽しんでください。ご来場、おまちしております。

P.S. 今回の演目「風の子九州あそび箱」は、『2019年度児童福祉文化賞推薦作品』に選ばれました。



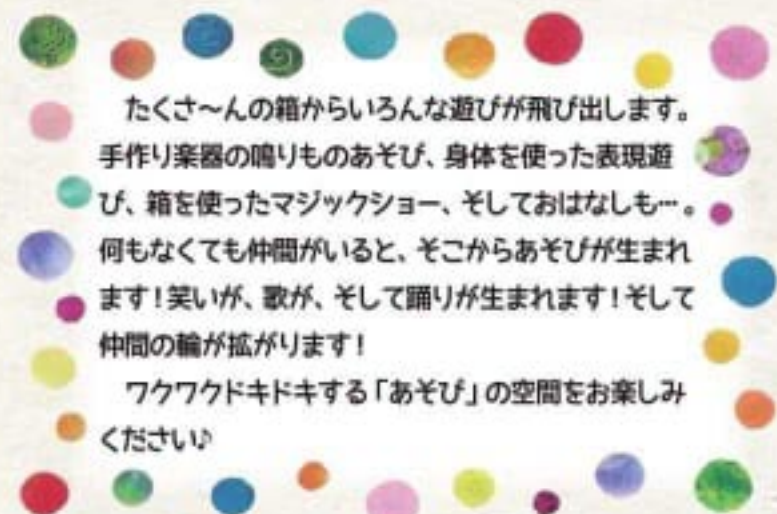
出演者

岩永 ひろこ
高山 洋輝
小池 勇治



スタッフ

原 案 / 風の子九州あそび箱城
作 / 山本佐助
監案・演出 / あさのゆみこ
音楽・効果 / 曲尾友克
美術 / 神門康子
制作 / 矢野ひとみ



たくさ～んの箱からいろんな遊びが飛び出します。
手作り楽器の鳴りものあそび、身体を使った表現遊び、箱を使ったマジックショー、そしておはなしも…。
何もなくても仲間がいると、そこからあそびが生まれます! 笑い、歌が、そして踊りが生まれます! そして仲間の輪が広がります!

ワクワクドキドキする「あそび」の空間をお楽しみください!

子どもにとって演劇とは!?

(フィリップ・ブルマン: 英国のベストセラー作家、脚本家。代表作『ライラの冒険』)

子どもたちから、秘密の隠れ家や、優しさ、食べ物、飲み水、運動などを、もし私たちが取り上げてしまったら、子どもたちは生きていけないはずがありません。同じように、もし子どもたちから美術、音楽、物語、演劇を取り上げてしまったら、子どもたちの心の中は枯れ果ててしまいます。でも子どもたちが芸術に飢えていることは、なかなか表面には現れてはこないのです、おとなたちは子どもに芸術が必要だということがわからないのです。

(『児童・青少年演劇ジャーナル5』より転載)



公演
スケジュール

5/16 (木)

香春町

町民センター・コンベンション室

香春町大字高野 987-1

TEL0947-32-2162

開演

19:00

(5/19は14:00)

上演時間50分

5/21 (火)

添田町

オークホール・研修室

添田町大字庄 952

TEL0947-82-2559

5/15 (水)

小竹町

総合福祉センター・大研修室

小竹町大字勝野 358

TEL09496-2-1219

5/14 (火)

桂川町

住民センター・大ホール

桂川町大字土井 424-8

TEL0948-65-2007

5/19 (日)

川崎町

総合福祉センター・多目的ホール

川崎町大字田原 804

TEL0947-72-5244



5/22 (水)

嘉麻市

夢サイトかほ・大研修室

嘉麻市大隈町 1228-1

TEL0948-57-0080

チケット

1,000円

4歳以上 当日券のみ

お問い合わせは



劇団 風の子九州

KAZENOKO-KYUSHU Theatre Company

〒814-0002 福岡市早良区西新5丁目5-13

☎092-841-7889代 FAX092-841-7896

<https://www.kazenoko-kyushu.com/>

E-mail: info@kazenoko-kyushu.or.jp



こちらからも
ホームページへ
アクセスできます

